

「新しい地へ」 ～うずに巻き込まれるな！～

創世記12：1～3

昨今の政治は混乱しているように感じます。震災における責任を誰かに押し付けようとしています。しかし目に見えない所で政治家に助言している方には責任は取られません。実のところ、目立つ存在よりも目立たない存在に目を向けるべきです。このことから私たちの目は本当に大切にしなければならないことよりも、偽りに目がいってしまう事が多くあります。世界中で異常気象が起きています。中国では旱魃、アメリカでは巨大な竜巻などが起こっています。巨大竜巻が通った地域は、破壊され尽くし被害は大きいです。竜巻や渦潮などは外側から内側に巻いています。外から中心に向けて吸い込まれていくような構造です。私たちの心がざわざわしているのであれば、渦に飲み込まれ、大切にしなければならない事が大切でできなくなってきているのではないかと思います。その時どのようにするべきでしょうか。それはダビデが詩篇で書いているように、「私の目の前に主を置く」ことしかありません。問題の中において、見るべきものがみれないのであれば、うずに巻き込まれていないでしょうか。最初はちょっと目線がずれただけです。しかし段々とうずは大きくなり、やがて抜け出せなくなっていきます。アダムとエバはエデンの園で幸せに過ごしていました。中央にある善悪を知る木の実だけは食べてはならないと言われていたのですが、エデンの園にはそれ以外にもたくさん木があったと思います。しかし悪魔の誘惑によって園の中央の木にしか目が行かなくなってしまいました。そして木の実を食べることになってしまいました。私たちは自分の進むべき道が分かっていますが、問題を見て繰り返してしまいます。聖書には「レピヤタン」が出てきます。海の巨獣として書かれていますが、ヘブル語の語源で「渦巻くもの」という言葉が使われています。悪魔は私たちを問題の渦の中に巻き込もうとしてきます。最初は少しの“ずれ”かもしれません。しかし竜巻が巨大化するように、段々と大きくなってしまいます。私たちは問題を見る時、主を通して見なければなりません。（創世記12：1～3）アブラムは生まれ故郷を捨て、神が示す地へ行きなさいといわれます。この時、アブラムには結果がどのようになるのかわかっていませんでした。しかし信じて出て行きました。私たちも自分の遣わされた地へそれぞれが出て行こうとしますが、そこでも問題が起こり、巻き込まれてしまう可能性があります。その時、渦に巻き込まれたままなのか、御言葉を掴み、渦から出る事ができるのかは私たちの決断です。（エレミヤ30：17～24）「私に近づくために、いのちをかけるものはいったい誰なのか」と言われています。アブラムもアブラハムとなり祝福の基となると言われてしまいましたが、サラは信仰を持って待つ事ができず、女奴隷ハガルに子どもを生ませてしまいました。これは今日の中東問題の大きな原因となっていますが…。アブラハムは神を信じていましたが失敗をしてしまう場合があります。その時、開き直ったり、ひねくれたりせずに、主に立ち返って行きました。私たちはアブラハムのように渦の中から出ていかなければなりません。アブラハムとロトが祝福されたため地所を分けるようになります。ロトは神と話し合いをせず、自分で判断し、決断をしました。神の流れの中にいれば祝福をされました。しかしあきらめてしまったために、ソドムとゴモラのような土地を選び、悲しい結果となってしまいました。神のために何かしようとする時、悪魔は私たちの頭上に渦を起こし、巻き込もうとしてきます。ですから私たちは新しい地へ進んでいくために**①神の命令に立ちましよう**。アブラハムは神の命令によって家を出ました。生まれ故郷から出なければ問題の渦に巻き込まれてしまったからたかもしれしまいます。私たちが停滞すると渦に巻き込まれ、私たちの後についてくる人々まで渦に巻き込まれてしまうのです。ですから神を信じて進むべき道を進まなければいけません。そのためにも神の命令に立つ必要があります。神の命令は重荷にはなりません。反対に休息を得、癒しを受けます。癒された私たちは主にある喜びを得るために進んでいくことができます。**②スパイラルから抜けましよう**。私たちは渦から逃げ、イエスキリストによる守りを受け取りましよう。私たちには渦や竜巻を取り除く事ができる方います。それがイエスキリストです。私たちは自分の意志をもってイエスを見続けましよう。目を離してはいけません。私たちは何回も飲み込まれてしまう問題があります。それに飲み込まれないようにしましよう。それは渦を見ている証拠です。私たちはイエス様に任せていしましよう。一度委ねた問題に飲み込まれないようにしましよう。反対にイエスキリストによって回りにいる人を助けなければなりません。私たちが愛を流したいと思い、出て行こうする時に、自分が渦に巻き込まれた状態では救う事はできません。私たちがまず渦から抜けましよう。助けはイエスキリストからしか来ません。**③約束を得るためにいのちをかけましよう**。アブラハムは自分のいのちよりも大事な息子イサクのいのちをかけました。（創世記22：1～）いのちを得るために私たちは敵と戦うこととなります。アブラハムは息子と帰ってくると信じていきました。私たちも必ず、子どもと一緒に帰ってくると信じていのちをかけてついていしましよう。受胎告知された時のマリアのように神の言葉が実現すると信じきりましよう。ヨセフが身ごもった事を隠し、逃げていたらどうなっていたでしょうか。私たちは目の前の渦に飲まれないようにしましよう。「わたしに近づくためにいのちをかける者は、いったいだれなのか。【主】あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。（エレミヤ30：21～22）」私たちは神の前にいのちがけで出ていしましよう。そして愛する隣人のために聖霊の力をうけましよう。イエスキリストは私たちのためにいのちをかけた愛を現しました。私たちは自分の十字架はすでにイエスキリストが背負ってくれました。ですから私たちは自分の隣人の十字架を負いゴルゴタの丘へ登りましよう。私自身はすでにイエスキリストによって背負われているからです。神の示された地へ信仰を持って出ていき、愛を現していしましよう。（要約者：平澤一浩）